野球 ならしのフレンズ

スポーツ少年団大会

2019年度習志野市スポーツ少年団の第39回軟式野球大会兼第41回千葉県大会予選と第34回ソフトボール大会が4月20日と21日、第一カッター球場ほかで開かれた。

合同開会式では、新しく本部長に就いた髙橋保雄大会会長に前年度優勝チームから優勝杯が返還され、選手を代表して津田沼少年野球団の佐藤周良さんと藤崎シークレット女子の鎌田陽花さんが元気いっぱい宣誓した。

大会では熱戦が展開され、軟式野球はならしのフレンズが初優勝。ソフトボールは大久保ブルースカイが優勝を飾った。

大会結果は次の通り。

【軟式野球】

▽1回戦

藤崎シークレット　7―1　袖ケ浦ボーイズ
津田沼少年野球団　16―0　大東あづまヤンチャーズ
向山ファイターズ　11―5　実花レジェンド
谷津サザナミ　12―3　習志野ベイドリームス
実籾クラブ　10―3　習志野フェニックス

▽2回戦

ならしのフレンズ　13―4　藤崎シークレット
鷺沼マリーンズ　14―7　津田沼少年野球団
谷津サザナミ　6―5　向山ファイターズ
実籾クラブ　6―3　大久保フロッグス

▽準決勝戦

ならしのフレンズ　8―2　鷺沼マリーンズ
谷津サザナミ　11―8　実籾クラブ

▽3位決定戦

鷺沼マリーンズ　14―6　実籾クラブ

▽決勝戦

ならしのフレンズ　0 0 0 0 4 4
谷津サザナミ　0 0 3 0 0 0 0　3

▽バッテリー＝高橋大―吉池（フレンズ）赤坂遼、清水、赤坂遼―赤坂慶（サザナミ）

▽三塁打＝吉池、久保田、石井（フレンズ）赤坂慶（サザナミ）

▽二塁打＝町山（サザナミ）

【後記】

決勝戦はならしのフレンズと谷津サザナミの顔合わせとなった。1回、2回は両チーム無得点。3回裏、サザナミは1番町山の左越二塁打と2番赤坂慶の左中間三塁打で先制点。3番根来の内野ゴロの間に赤坂慶がかえり、4番赤坂遼、5番早津の連続左前安打でこの回3点を上げる。4回、5回はともに単打は出るが打線がつながらず、フレンズも好機を逸す。しかし6回表、フレンズは一死から4番吉池が左越三塁打。5番坂田は四球の後、6番久保田の右越三塁打で、吉池、坂田がかえり1点差とし、7番杉本は四球、盗塁。8番香取のスクイズが相手エラーを生み、久保田、杉本がかえり逆転。フレンズは投手・高橋大が最終回まで投げ切り勝利した。両チームは5月12日から行われた第41回千葉県大会に出場。

ならしのフレンズの吉池勇巳キャプテンは「勝利の理由は最後まであきらめないでチーム全員でがんばれたことです。良かった点はみんなで楽しめたことです。これからの大会でも良い結果が残せるように楽しく笑って野球をしたいです。そしていままで支えてくれた監督、コーチ、お母さん、お父さんに感謝したいです」と話した。

軟式野球優勝のならしのフレンズ

軟式野球準優勝の谷津サザナミ

ソフトボール優勝の大久保ブルースカイ

大久保優勝

【ソフトボール】

ソフトボールは3チームが参加し、リーグ戦で対戦した。

大久保ブルースカイの大和田葵キャプテンは「接戦ではありませんでしたが、危ない場面もありました。しかし、みんなアウトにしてくれ、攻めても外野に飛ばすなど活躍してくれて優勝できました。次もがんばりたいです」と話した。

▽リーグ戦

鷺沼イーグレット　6―5　藤崎シークレット
大久保ブルースカイ　13―0　藤崎シークレット
大久保ブルースカイ　4―2　鷺沼イーグレット
①大久保ブルースカイ②鷺沼イーグレット

全日本クラブ卓球出場

小島・徳永・小川・計良

千葉県卓球連盟主催の「千葉県クラブ卓球選手権大会兼第38回全日本クラブ体育館で開かれ、男子一般1部など10種目で団体戦が行われた。

女子50代の部で「かりん」（小島章子、徳永真美、小川あいこ、計良順子）が優勝。千葉県代表として全国大会出場を決めた。全日本選手権は10月11日から、福島県郡山市の郡山総合体育館で開催。

全国大会出場を決めた「かりん」

◎中学総体日程

7月開催の習志野市中学校総合体育大会の日程・会場は次の通り。

▽総合開会式＝3日（東部体育館）▽体操＝6日（習志野高校）▽水泳＝7日（東邦中）▽柔道＝13日（二中）▽野球＝13日～21日（第一カッター球場ほか）▽バスケットボール＝13日～21日（東部体育館）▽バレーボール女子＝13日・14日（東部体育館ほか）▽バレーボール男子＝14日（二中）▽剣道＝14日（一中）▽ソフトボール＝14日～21日（三中）▽陸上競技＝16日（千葉県総合スポーツセンター）▽ソフトテニス＝20日・21日（秋津テニスコート）▽サッカー＝21日～23日（第一カッターフィールドほか）▽卓球＝22日・23日（東部体育館）

東邦中が全勝優勝

U―15サッカーリーグ

2018―2019第1回習志野市U―15サッカーリーグが平成30年10月14日から31年4月21日まで、習志野高校、東邦中学・高校ほかで開かれた。

市内8校が総当たりのリーグ戦を行い、総体に向けて半年間にわたり覇を競った。大会では県新人戦準優勝の東邦中が全勝、総得点41、失点0の強さで第1回優勝を飾った。

東邦中の渕本敬介キャプテンは「今回1位になることができてとてもうれしいです。全員が現状に満足することなく、常に向上心を持って練習した成果だと思います。総体に向け、残された時間を大切にしたいです。そして、少しでもチーム力を高められるように努力していきます」と話した。

◇リーグ戦

大会結果は次の通り。

一中	1―0	二中	
四中	21―1	一中	
一中	42―0	三中	
五中	21―1	一中	
一中	20―0	六中	
一中	40―0	七中	
東邦中	40―0	一中	
三中	40―0	二中	
二中	11―1	四中	
総合	10―0	五中	
第二	10―0	二中	
二中	50―0	六中	
二中	30―0	七中	
東邦中	60―0	二中	
三中	32―0	四中	
三中	70―0	五中	
三中	30―0	六中	
三中	90―0	七中	
東邦中	30―0	三中	
四中	50―0	五中	
四中	10―0	六中	
四中	00―0	七中	
東邦中	30―0	四中	
五中	10―0	六中	
五中	2―1	七中	
東邦中	4―0	五中	
六中	1―1	七中	
東邦中	7―0	六中	
東邦中	14―0	七中	

①東邦中（7勝0敗・勝ち点21）②三中（5勝2敗・勝ち点15）③一中（4勝3敗・勝ち点12）④四中（3勝2敗2分・勝ち点11）⑤二中（3勝3敗1分・勝ち点10）⑥五中（3勝4敗・勝ち点9）

優勝の東邦中